

2017年度(2018年3月期) 第3四半期決算説明会



2018年2月1日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



2017年度第3四半期決算：概要

(億円)

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年同期比 増減	
売上高	2,164	2,158	-6	-0.3%
セルフメディケーション	1,382	1,409	+27	+1.9%
医薬	783	749	-33	-4.2%
営業利益	266	286	+20	+7.5%
経常利益	314	334	+20	+6.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	237	265	+28	+11.8%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2017年度第3四半期の概況：SM事業

(億円)

	2017年度 3Q累計	前年同期比 増減		要因
SM事業全体	1,409	+27	+1.9%	
SM国内	1,153	-5	-0.4%	
リポビタンシリーズ	441	-33	-6.9%	市場ダウントレンドの影響等
パブロンシリーズ	209	+21	+10.9%	かぜ薬や鼻炎治療薬の伸長
リアップシリーズ	123	+0	+0.3%	継続ユーザーの維持
その他	380	+7	+2.0%	通信販売事業は伸長 ビオフェルミンの商流変更による 一時的減少
SM海外	235	+31	+15.4%	計画上回るも 一時的在庫要因あり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

- 国内OTC医薬品市場：前年同期比(4～12月)+0.1%
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2017年度第3四半期 SM海外:売上高

(億円)

	2017年度 3Q累計	前年同期比 増減	
SM海外	235	+31	+15.4%
海外ドリンク剤	85	+13	+18.3%
海外OTC医薬品	138	+12	+9.6%
アジア	122	+11	+10.3%
その他	16	+1	+4.3%

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2017年度第3四半期の概況：医薬事業



(億円)

	2017年度 3Q累計	前年同期比 増減		要因
医薬事業	749	-33	-4.2%	
エディロール	192	+16	+9.3%	骨粗鬆症治療薬のベース薬として定着
ゾシン	79	-48	-37.7%	後発品の影響により減少
ボンビバ	49	+3	+7.0%	市場が横ばいの中、シェアを拡大
ルセフィ	36	+15	+68.3%	SGLT2阻害剤市場の拡大
ロコア	24	+13	+123.2%	高い臨床効果の認知の広がり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

医療用医薬品市場：前期比+1.1%

・抗菌薬市場-8.8% ・ビタミンD3市場+7.3%

・骨粗鬆症及関連疾患用ビスホスホネート市場+0.5% ・SGLT2i市場+59.4%

(Copyright © 2018 IQVIA.、JPM2016年4月-2017年12月をもとに作成、無断転載禁止)



2017年度第3四半期： 売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (-6億円)	セルフメディケーション事業 (+27億円)	医薬事業 (-33億円)
営業利益 (+20億円)	売上総利益* +23億円 (売上総利益率* 前年同期63.9% → 当期65.2%)	
	販管費 +3億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+0億円
	・広告宣伝費	+7億円
	・販売促進費	-13億円
	・人件費	-4億円
・その他	+14億円	

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

※ 営業外損益：持分法投資損益 -7億円



2017年度：通期業績予想

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
売上高	2,795	-3	-0.1%	2,790	+5
セルフメディケーション	1,835	+35	+1.9%	1,813	+22
医薬	960	-38	-3.8%	977	-17
営業利益	335	+15	+4.8%	285	+50
経常利益	385	+5	+1.2%	345	+40
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	+12	+4.2%	240	+60
1株当たり当期純利益(円)	375.47	-	-	300.38	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2017年10月30日時点の予想との比較



2017年度：業績予想の修正要因

売上高

		修正額	主な要因
セルフメディケーション	国内	+6億円	パブロン・ビオフェルミン好調
	海外	+14億円	ドリンク：計画を上回る成長 為替の影響
医薬		-17億円	抗菌薬の処方減少

費用

	修正額	主な内訳
販管費	-41億円	研究開発費 -24億円 広告宣伝費 -1億円 販売促進費 -17億円



2017年度予想: SM事業

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
SM事業全体	1,835	+35	+1.9%	1,813	+22
SM国内	1,499	+2	+0.1%	1,493	+6
リポビタンシリーズ	551	-34	-5.8%	568	-17
パブロンシリーズ	280	+17	+6.5%	269	+12
リアップシリーズ	162	+2	+1.1%	159	+3
SM海外	309	+34	+12.3%	295	+14

注: 金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2017年10月30日時点の予想との比較



2017年度予想 SM海外:売上高

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
		増減額	増減率		
SM海外	309	+34	+12.3%	295	+14
海外ドリンク剤	108	+15	+15.9%	99	+10
海外OTC医薬品	186	+14	+8.2%	183	+3
アジア	165	+14	+9.3%	163	+2
その他	20	+0	+0.1%	20	+0

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2017年10月30日時点の予想との比較



2017年度予想：医薬事業

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
医薬事業	960	-38	-3.8%	977	-17
エディロール	251	+25	+11.1%	250	+1
ゾシン	93	-62	-40.1%	95	-2
ボンビバ	66	+7	+11.7%	71	-5
ルセフィ	51	+22	+77.5%	48	+3
ロコア	36	+18	+98.5%	36	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算
*2017年10月30日時点の予想との比較



2017年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-3億円)	セルフメディケーション事業 (+35億円)	医薬事業 (-38億円)
営業利益 (+15億円)	売上総利益* +36億円 (売上総利益率* 前期63.7% → 当期65.0%)	
	販管費 +20億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+3億円
	・広告宣伝費	+10億円
	・販売促進費	-7億円
	・人件費	-4億円
・その他	+18億円	

* 返品調整引当金繰入・戻入調整後
金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

※ 営業外損益：持分法投資損益 -18億円(前期比-12億円)



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2018年2月1日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-152* (注射)	<u>抗TNFα抗体</u> 関節リウマチ	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内
TS-142 (経口)	不眠症	自社	国内
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外

*TS-152：一般名：Ozoralizumab

医療用医薬品：新薬パイプライン(2)



大正製薬開発品：フェーズ1

(2018年2月1日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ